

# 株式会社オー・エヌ 環境経営レポート

2023年度

(対象期間 2023年4月～24年3月)



## 目次

1. 組織の概要、対象範囲	1頁
2. 実施体制	2頁
3. 環境経営方針	3頁
4. 環境経営目標	4頁
5. 環境経営計画及び実施した取組内容	4頁
6. 環境経営目標の実績	5頁
7. 環境経営計画の取組結果とその評価	5頁
8. 次年度の環境経営目標と環境経営計画	6頁
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	6頁
10. 代表者による全体評価と見直し・指示	6頁

2024年4月28日発行

# 1. 組織の概要、対象範囲

## 1. 1 組織の概要

- 1) 名称及び代表者名  
株式会社オー・エヌ  
代表取締役社長 大西 大助
- 2) 所在地  
本 社 東京都八王子市北野町593-14(令和2年取組開始)
- 3) 環境管理の責任者及び担当者連絡先  
責任者 営業部 部長 松崎 謙一 TEL:042-649-5077  
担当者 業務・物流部 森島 香世 TEL:042-649-5077  
製造部 富里 雄司  
電子メール [k-matsuzaki@on-tcr.co.jp](mailto:k-matsuzaki@on-tcr.co.jp)  
[gyom@on-tcr.co.jp](mailto:gyom@on-tcr.co.jp)
- 4) 事業活動内容  
レーザープリンター用再生カートリッジの製造・販売

### 5) 事業の規模

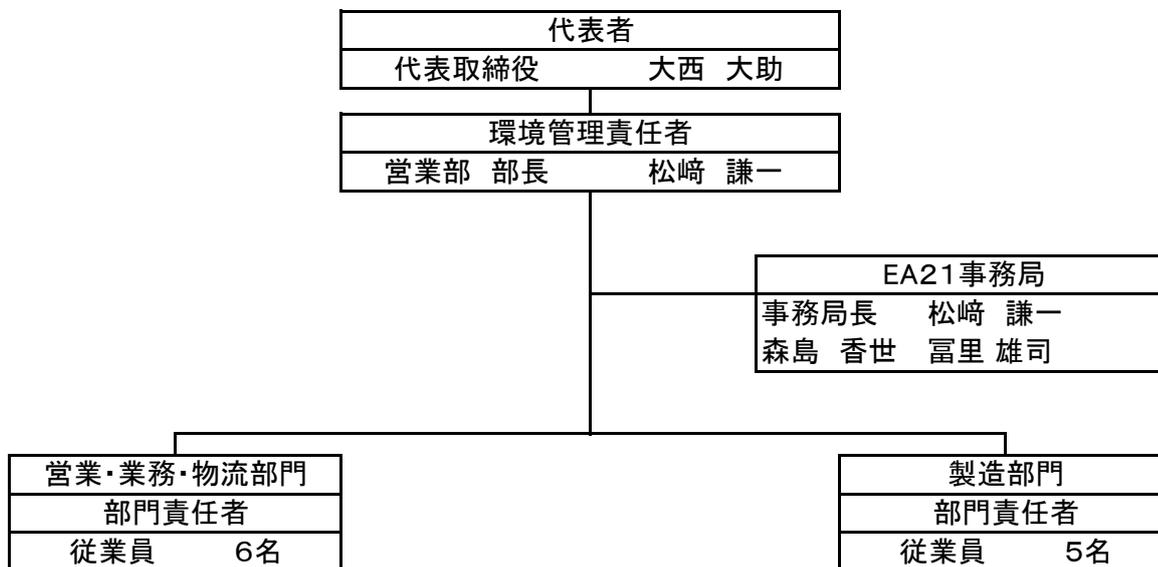
	事業年度		4月～3月	
	単位	2019年	2022年	2023年
売上高	億円	1.2	0.93	1.08
主要製品生産量	台	55428	43027	44595
従業員	人	11	12	12
延べ床面積	m <sup>2</sup>	534.39	534.39	534.39

## 1. 2 対象範囲(認証・登録範囲)

- 1) 対象組織 「1. 2)所在地」欄に記載
- 2) 活動 「1. 4)事業活動内容」欄に記載
- 3) レポートの対象期間及び発行日 表紙に記載

## 2. 実施体制図

### 環境経営システム実施体制図



### 役割、責任及び権限表

対象者	役割、責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。</li> <li>・環境経営に関する方針(環境経営方針)を定め、誓約する。</li> <li>・効果的で必要十分な実施体制を構築し、役割、責任及び権限を定める。</li> <li>・環境経営に必要な資源(人・もの・資金・情報)の用意する。</li> <li>・環境経営全体の取組状況を評価し、総括的見直し、必要な指示を行う。</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営目標、環境経営計画の作成・承認及び社内周知</li> <li>・全社組織へのEA21活動実施の統括</li> <li>・EA21活動結果全体のとりまとめ承認及び代表者への報告</li> <li>・内外環境コミュニケーションへの対応</li> <li>・問題点の是正処置の統括</li> </ul>
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針等決定事項の社内伝達</li> <li>・EA21活動に関する協議、意見交換</li> <li>・環境管理責任者の補佐</li> <li>・EA21活動に関する事務</li> </ul>
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画内容の部門内周知</li> <li>・部門内EA21活動の実施指揮及び部門内EA21活動結果のとりまとめ</li> <li>・問題点の是正処置、予防処置の実施</li> </ul>
従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営目標、環境経営計画等に基づくEA21活動の実施</li> <li>・EA21活動に関する提案</li> </ul>

### 3. 環境経営方針

## 環境経営方針

### [ 企業理念 ]

株式会社オー・エヌは、プリンター用カートリッジの再生事業を通じて、リユース、リデュース、リサイクルの理念に基づき環境問題への貢献を意識し環境経営システムを構築、運営維持することでお客様及び地球環境に貢献できる企業を目指します。

### [ 環境経営の指針 ]

当社は、企業理念を踏まえ、経営と環境が融合した環境経営システムを基盤とすることにより製造業として環境負荷の少ない事業活動並びに環境に配慮した製品・サービスの提供に積極的に取り組めます。

環境経営への取り組みに当たっては、環境関連法規等を遵守し、以下の基本的方向に基づき全従業員参画により環境活動を実践すると共に環境経営の継続的改善を図ることを誓約します。

### [環境経営への取組の基本的方向]

#### 1. 二酸化炭素排出量の削減

- ① 生産設備及び照明設備の省エネ化により電気使用量の削減に努めます。
- ② エコドライブの徹底により車輛等の燃料使用量削減に努めます。
- ③ その他化石燃料使用量削減に努めます。

#### 2. 廃棄物排出量の削減

- ① 事業所から発生する廃棄物及び製品の製造に係る産業廃棄物を削減すると共に適正処理を行います。

#### 3. 水使用量の削減

- ① 事業所内の水使用量の削減に努めます。

#### 4. 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善

- ①環境配慮型製品(リサイクルトナー)開発と販売の促進に努めます。

この環境方針は、全従業員に周知すると共に、一般にも公開します。

制定:2020年7月21日

株式会社オー・エヌ

代表取締役 大西 大助

#### 4. 環境経営目標

#### 2023年度 環境経営目標

No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値	CO2換算係数	年度目標		
			2019年度		2022年度	2023年度	2024年度
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	電力使用量	0.670 (日本瓦斯)	基準値に対し 5%削減	基準値に対し 5%削減	基準値に対し 5%削減
			43,901 kWh/年		41,706 kWh/年以下	41,706 kWh/年以下	41,706 kWh/年以下
		2) 化石燃料使用量の削減	ガソリン	2.32	基準値に対し 5%削減	基準値に対し 5%削減	基準値に対し 5%削減
			2658 L/年		2,525 L/年以下	2,525 L/年以下	2,525 L/年以下
CO <sub>2</sub> 総量計 (kg-CO <sub>2</sub> )		39,520 kg-CO <sub>2</sub> /年		33,801 kg-CO <sub>2</sub> /年以下	33,801 kg-CO <sub>2</sub> /年以下	33,801 kg-CO <sub>2</sub> /年以下	
2	廃棄物排出量の削減	産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物排出量		基準値に対し 5%削減	基準値に対し 5%削減	基準値に対し 5%削減
			3,866 kg/年		3,672.7 kg/年以上	3,673 kg/年以上	3,673 kg/年以上
3	水使用量の削減	水道使用量	水道使用量		基準値に対し 3%削減	基準値に対し 3%削減	基準値に対し 3%削減
			110 m <sup>3</sup> /年		106.7 m <sup>3</sup> /年以下	106.7 m <sup>3</sup> /年以下	106.7 m <sup>3</sup> /年以下
4	製品の環境性能の向上及びサービスの改善	再生可能アイテムの増加	再生可能アイテム数		基準値に対し 3機種増加	基準値に対し 3機種増加	基準値に対し 3機種増加
			177 機種		180 機種	180 機種	180 機種

※二酸化炭素排出係数は2019年日本瓦斯(株)実績の調整後排出係数0.670kg-CO<sub>2</sub>/kWhを適用した。

※年度表記は4月～3月の会計年度と同一期間を適用した。

#### 5. 環境経営計画及び実施した取組内容

2023年度4～3月		環境経営計画に基づき実施した取組内容		承認	作成			
作成年月日: 2023年4月28日				松崎	松崎			
No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	目標達成手段	責任部門 責任者	実施した取組内容 4月 ~ 3月			
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	生産設備の適正管理	EA21事務局 松崎	(左記達成手段全て)			
			空調温度の適正化(冷房27℃、暖房21℃) 照明器具の適正使用(作業場所以外消灯) 作業効率の向上による残業の削減					
		2) 化石燃料使用量の削減	ガソリン 停車時のアイドリングストップの励行 急加速・急停車の防止 定期的にタイヤ空気圧をチェック 冷房の控え目使用 車両以外の交通手段を併用	EA21事務局 松崎	(左記達成手段全て)			
		CO <sub>2</sub> 総量計 (kg-CO <sub>2</sub> )						
2	廃棄物排出量の削減	1) 一般廃棄物排出量の削減	分別リサイクル・再資源化の推進	EA21事務局 松崎	(左記達成手段全て)			
			2) 産業廃棄物排出量の削減			廃棄物の分別、リサイクルの周知徹底 製品管理の徹底 ミスコピーの削減 ミスコピーの裏紙使用 クラウド等を使用したペーパーレス化		
						節水の意識を高め、徹底	EA21事務局 松崎	(左記達成手段全て)
						節水シールの貼り付けとポスター掲示		
		節水弁取り付け						
4	製品の環境性能の向上及びサービスの改善	再生可能アイテムの増加	純正品新規リリース機種の情報収集	技術部	(左記達成手段全て)			
			市場ニーズの調査	岡本				

6. 環境経営目標の実績

2023年度3~4月

環境経営目標の実績

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	基準値	CO2換算係数	運用期間(2023年3月~4月)		
			(2019年度)		目標	実績	評価
1	二酸化炭素排出量の削減	1)電力使用量の削減	電力使用量		基準値に対し 5%削減		目標に対し -30.1%
			43,901 kWh/年	0.670 (日本瓦斯)	41,706 kWh/年	29,146 kWh/年	○
		2)化石燃料使用量の削減	ガソリン		基準値に対し 5%削減		目標に対し 7.2%
			2658 L/年	2.320	2,525 L/年	2,706 L/年	○
CO <sub>2</sub> 総量計 (kg-CO <sub>2</sub> )	35,580 kg-CO <sub>2</sub> /年		33,801 kg-CO <sub>2</sub> /年	25,851 kg-CO <sub>2</sub> /年	目標に対し -23.5% ○		
2	廃棄物排出量の削減	産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物排出量		基準値に対し 5%削減		目標に対し -45.2%
			3,866 kg/年		3,672.7 kg/年	2,011 kg/年	○
3	水使用量の削減	水道使用量	水道使用量		基準値に対し 3%削減		目標に対し -29.7%
			110 m <sup>3</sup> /年		106.7 m <sup>3</sup> /年	75.0 m <sup>3</sup> /年	○
4	製品の環境性能の向上及びサービスの改善	再生可能アイテムの増加	再生可能アイテム数		基準値に対し 3機種増加		目標に対し 2.2%
			177 機種		180 機種	184 機種	○

※二酸化炭素排出係数は2019年日本瓦斯(株)実績の調整後排出係数0.670kg-CO<sub>2</sub>/kWhを適用した。

※No.1,2,3の環境経営目標項目は、実績が目標値以下で達成「○」、+5%未満でほぼ達成「△」、+5%以上で未達成「×」と評価する。

※No.4の環境経営目標項目は、実績が目標値以上で達成「○」、-5%未満でほぼ達成「△」、-5%以下で未達成「×」と評価する。

※Co<sub>2</sub>総量は総量合計にLPGの44.70kgを足し25850.7kgとなった。

7. 環境経営計画の取組結果とその評価

2023年度4~3月		環境経営計画の取組結果とその評価		承認	作成
作成年月日: 2023年4月28日				松崎	松崎
No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	目標達成手段	取組結果とその評価	
1	二酸化炭素排出量の削減	1)電力使用量の削減	生産設備の適正管理	目標に対して-30%達成、前年度より生産台数も増えている中での数字は評価できると考える。製造、物流現場従業員にも周知徹底出来ていると考える。	
			空調温度の適正化(冷房27℃、暖房21℃)		
		照明器具の見直し(LED照明等)			
作業効率の向上による残業の削減					
2)化石燃料使用量の削減	ガソリン	停車時のアイドリングストップの励行	事務所とは別に使用していた倉庫は使用を中止したが、営業車が1台増えたが軽自動車を採用し極力ガソリンの使用量を減らすよう試みたが目標達成は出来なかった。営業スタイルの変更に伴い目標設定の見直しが必要だと思われる。		
		急加速・急停車の防止			
		定期的にタイヤ空気圧をチェック			
冷房の控え目使用					
車両以外の交通手段を併用					
CO <sub>2</sub> 総量計 (kg-CO <sub>2</sub> )		Co <sub>2</sub> 総量としては-23.5%と大きく達成出来ているが、営業スタイルの変更に伴うガソリンの使用量が問題点となる。			
2	廃棄物排出量の削減	産業廃棄物排出量の削減	廃棄物の分別、リサイクルの周知徹底	製造現場での裏紙使用の徹底や顧客に対しての納品書発行枚数の減少等、効果があった。	
			製品管理の徹底		
			ミスコピーの削減		
			ミスコピーの裏紙使用		
クラウド等を使用したペーパーレス化					
3	水使用量の削減	節水の意識を高め、徹底	節水シールの貼り付けとポスター掲示	節水意識は十分周知されたものとする、今後も徹底し継続する。	
			節水シールの貼り付けとポスター掲示		
4	製品の環境性能の向上及びサービスの改善	再生可能アイテムの増加	純正品新規リリース機種の情報収集	一部メーカーの新機種リリースはあったが、旧機種の部材供給終了に伴う廃盤が相次いだ	
			市場ニーズの調査		

## 8. 次年度の環境経営目標と環境経営計画

2024年度4～3月

環境経営目標及び環境経営計画

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	環境経営目標	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール	
						4月	3月
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	電力使用量 41,706 KWH	生産設備の適正管理 空調温度の適正化(冷房27℃、暖房21℃) 照明器具の適正使用(作業場所以外消灯) 作業効率の向上による残業の削減	EA21事務局 松崎	(左記達成手段全て)	
		2) 化石燃料使用量の削減	ガソリン使用量 2,525 L	ガソリン 停車時のアイドリングストップの励行 急加速・急停車の防止 定期的にタイヤ空気圧をチェック 冷房の控え目使用 車両以外の交通手段を併用	EA21事務局 松崎	(左記達成手段全て)	
		CO <sub>2</sub> 総量計(kg-CO <sub>2</sub> )	(kg-CO <sub>2</sub> )		EA21事務局		
2	廃棄物排出量の削減	1) 廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量 3,673 Kg	廃棄物の分別、リサイクルの周知徹底 製品管理の徹底 ミスコピーの削減 ミスコピーの裏紙使用 クラウド等を使用したペーパーレス化	EA21事務局 松崎	(左記達成手段全て)	
3	水使用量の削減		水使用量 106.7 m <sup>3</sup>	節水の意識を高め、徹底 節水シールの貼り付けとポスター掲示	EA21事務局 松崎	(左記達成手段全て)	
4	製品の環境性能の向上及びサービスの改善	再生可能アイテムの増加	180 機種	純正品新規リリース機種の情報収集 市場ニーズの調査	技術部 岡本	(左記達成手段全て)	

## 9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

区分	環境関連法規等名称	遵守状況確認
		チェック日
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)(一般廃棄物の処理)	2024/3/27
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)(産業廃棄物の適正処理)	2024/3/27
資源循環(リサイクル)	特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	2024/3/27
	使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)	2024/3/27
大気汚染	フロン排出抑制法	2024/3/27

当社に關係する環境関連法規の遵守状況を2024年3月に確認した結果、違反はありませんでした。

また、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟も過去3年間ありません。なお外部からの苦情は活動期間中にはありませんでした。

## 10. 代表者による全体評価と見直し・指示

全従業員への周知徹底が功を奏し、ガソリン使用量以外の目標は達成出来たことは評価できると考えております。引き続き意識を高く持ち目標を達成していけるよう努力して参ります。